

令和7年度 公共事業再評価調査

(区分) (国補)・ 県単

1. 事業説明シート

事業名		中山間地域整備事業 [中山間地域総合整備事業(国補)]		事業箇所	南巨摩郡身延町	地区名	身延南部	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画						
	H27~R4	H27~R7	H27~R10						
総事業費	2,000 百万円	2,451 百万円	2,451 百万円						
(1) 事業の概要							④特記事項(関連事業概要等) ・なし		
①事業目的及び効果 本地区は県の南西部に位置し、中央を北から南に富士川が流れその両岸に集落や農地が連なる中山間農業地域である。水稻、露地野菜を中心とした農業が営まれており、特に地域の特産品である「あけぼの大豆」は、通常の枝豆よりも大粒でより甘みが強いことから県内外からの評価が高く、収穫体験やゆば、味噌等の加工品の開発等の取り組みが行われている。 しかし、農業従事者の高齢化、未整備な生産基盤、野生鳥獣による被害等、農業振興を進めていくうえで多くの課題を抱えている。 一方、令和3年に中部横断自動車道の山梨～静岡間が開通、地区内には下部温泉早川IC、身延山ICの2つのICが建設され、都市部からの来訪者の増加が期待される。このため、本事業により農業生産基盤の総合的な整備を実施し、地域の抱える課題の解決を図るとともに、都市住民との交流などを通じた新たな農業振興を進めることで地域の活性化を目指すものである。									
□主要目標 ○中山間地域等の農村生活・生産機能の向上 ・農業所得増加額 1,342千円/ha≥1,322千円/ha※(※評価基準値)							⑤これまでの評価状況(平成26年度事前評価) 本事業は、農業生産基盤を総合的に整備することで、農作業条件が改善されるため地域農業の振興には最適な事業であるとともに、地域特産物の生産拡大と農産物販売の向上を図る上で、実施が妥当である。		
□副次目標 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 ○農業用排水能力の向上 ○鳥獣被害の軽減									
□副次効果 ○遊休農地の解消 ○農地の保全							(2) 事業位置図等		
②事業概要									
		現計画	変更計画						
用排水路		L=2,646m	→ L=2,646m						
農道		L=1,585m	→ L=1,585m						
区画整理		A=13.9ha	→ A=13.9ha						
鳥獣害防止施設		L=20,540m	→ L=20,540m						
③全体計画									
		令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)		令和8年度以降				
現計画	工事内容	用排水路 L=2,509m 農道 L=797m 区画整理 A=7.3ha 鳥獣害防止施設 L=15,310m	用排水路 L=137m 農道 L=788m 区画整理 A=6.6ha 鳥獣害防止施設 L=5,230m		—				
	事業費	1,624 百万円	827 百万円		—				
変更計画	工事内容	用排水路 L=2,509m 農道 L=797m 区画整理 A=7.3ha 鳥獣害防止施設 L=15,310m	用排水路 L=137m 農道 L=528m 区画整理 A=2.1ha		農道 L=260m 区画整理 A=4.5ha 鳥獣害防止施設 L=5,230m				
	事業費	1,624 百万円	198 百万円		629 百万円				

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

0km 2.5km 5km

地理院地図(国土地理院)を加工して作成

2.評価シート（1）																																															
（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化 （今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）		（2）評価時点の費用対効果分析																																													
①地域・住民の意向状況 用排水路、農道等の未着手路線については、早期の整備が求められている。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項 目</th> <th>着手時点</th> <th>変更計画時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>2,000 百万円</td> <td>2,451 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工 期</td> <td>H27～R4</td> <td>H27～R10</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">経済 効 率 性</td> <td>評価基準年</td> <td>H26</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>2,170 百万円</td> <td>3,121 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>2,170 百万円</td> <td>3,121 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>3,070 百万円</td> <td>4,122 百万円</td> </tr> <tr> <td>作物生産効果</td> <td>1,260 百万円</td> <td>1,602 百万円</td> </tr> <tr> <td>営農経費節減効果</td> <td>1,250 百万円</td> <td>1,558 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行経費節減効果</td> <td>640 百万円</td> <td>779 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>△ 80 百万円</td> <td>183 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B / C</td> <td>1.4</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> 費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上 ※その他は、品質向上効果、維持管理費節減効果、災害防止効果、国産農産物安定供給効果		項 目		着手時点	変更計画時点	総事業費		2,000 百万円	2,451 百万円	工 期		H27～R4	H27～R10	経済 効 率 性	評価基準年	H26	R7	費用	2,170 百万円	3,121 百万円	建設費	2,170 百万円	3,121 百万円				便益	3,070 百万円	4,122 百万円	作物生産効果	1,260 百万円	1,602 百万円	営農経費節減効果	1,250 百万円	1,558 百万円	走行経費節減効果	640 百万円	779 百万円	その他※	△ 80 百万円	183 百万円	B / C		1.4	1.3
項 目		着手時点	変更計画時点																																												
総事業費		2,000 百万円	2,451 百万円																																												
工 期		H27～R4	H27～R10																																												
経済 効 率 性	評価基準年	H26	R7																																												
	費用	2,170 百万円	3,121 百万円																																												
	建設費	2,170 百万円	3,121 百万円																																												
	便益	3,070 百万円	4,122 百万円																																												
	作物生産効果	1,260 百万円	1,602 百万円																																												
	営農経費節減効果	1,250 百万円	1,558 百万円																																												
	走行経費節減効果	640 百万円	779 百万円																																												
	その他※	△ 80 百万円	183 百万円																																												
B / C		1.4	1.3																																												
③国等の方針 なし		（3）これまでの計画変更等の概要																																													
④上位計画・関連事業計画等 ・やまなし農業基本計画（令和6年1月策定）		・物価高騰や労務単価の上昇を要因とする事業費の増。 ・計画区域での区画整理の実施を契機に、周囲の区域においても区画整理の機運が高まり、区画整理箇所を追加したことによる事業量及び事業費の増。 ・換地計画の合意形成に不測の日数を要したため、事業工期を令和7年度までとした。 <table border="0"> <tr> <td></td> <td>当初</td> <td>→</td> <td>現計画</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>2,000百万円</td> <td></td> <td>2,451百万円</td> </tr> <tr> <td>計画期間</td> <td>3年延長</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td>区画整理</td> <td>11.0ha →</td> <td>13.9ha</td> </tr> </table>			当初	→	現計画	総事業費	2,000百万円		2,451百万円	計画期間	3年延長			事業概要	区画整理	11.0ha →	13.9ha																												
	当初	→	現計画																																												
総事業費	2,000百万円		2,451百万円																																												
計画期間	3年延長																																														
事業概要	区画整理	11.0ha →	13.9ha																																												
⑤自然環境条件等 なし																																															
⑥その他 なし																																															

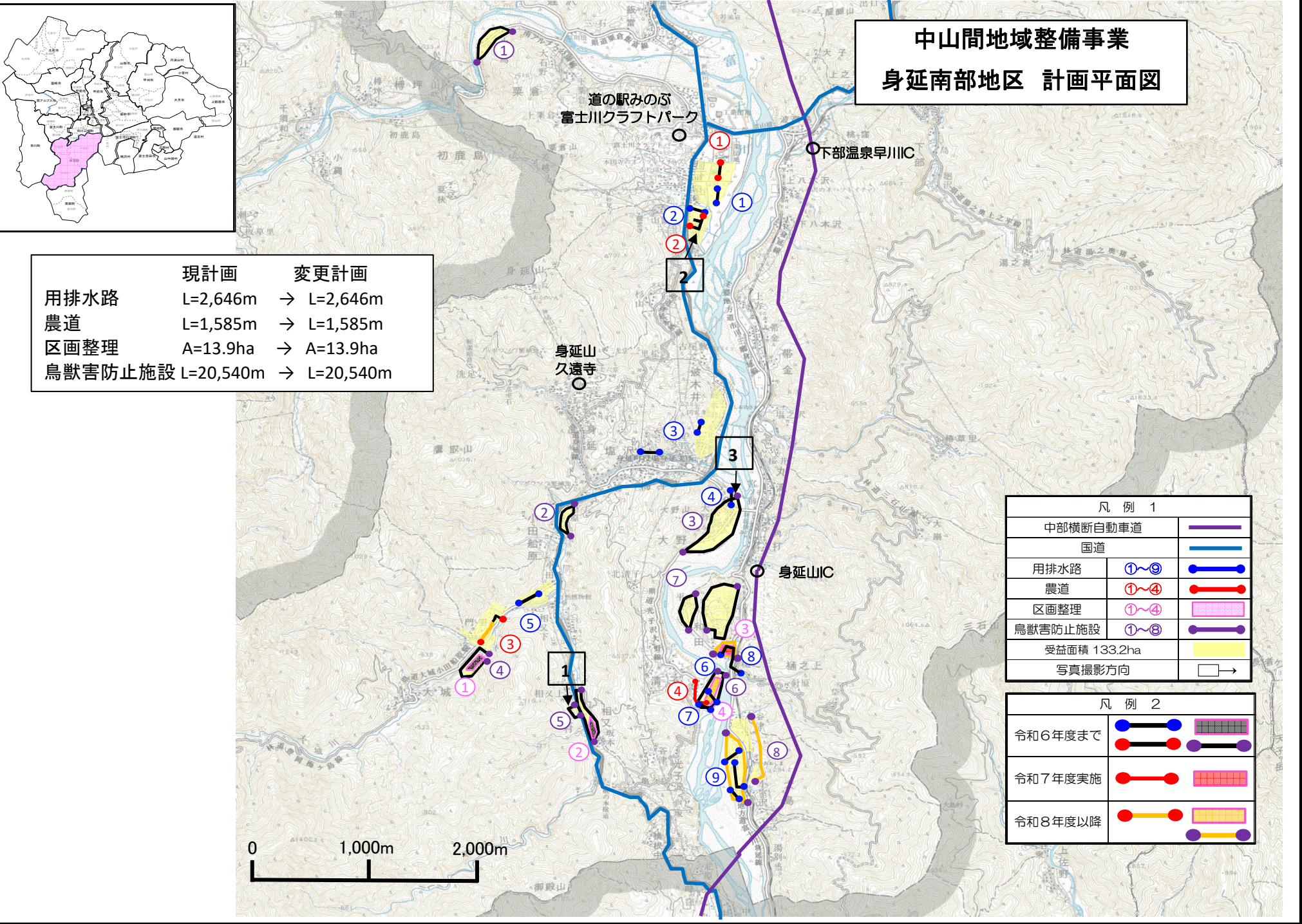
(4) 事業進捗状況及び見込み	(5) 環境負荷等への配慮
①進捗率 別表のとおり。 R7年度進捗率（現計画）100.0%→（実績）91.1%→（変更計画）74.4%	なし
②進捗率実績が計画と相違している理由 区画整理において、換地計画に関する地権者との合意形成や整備に伴う関係機関との協議に時間を要している。	(6) コスト縮減の可能性
③総事業費の変更内容 なし	なし
④事業期間の変更理由及び進捗予定 区画整理について換地計画の検討や地権者との合意形成に時間を要していたことと、整備に伴う協議により進捗が遅れていた。しかしながら、換地計画が確定し地元との調整及び関係機関との協議が整ったことから、残路線についても計画的かつ効率的な実施に努め、工期を3年延長し、令和10年度の完了を目指す。	(7) 代替案立案の可能性
⑤今後の事業執行における留意点 なし	(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続、その他（ ） （理由） 残された路線については、地域からの整備要望も強く、安定的な用水の確保や農作業の効率化に必要な不可欠な整備であることから、事業を継続し、令和10年度の完成を予定している。

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100																			単位：％
	年度	*H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9	R10				
現	計画	1.1	12.0	30.0	45.0	55.0	60.0	65.0	70.0	80.0	90.0	100							
	実績	1.1	11.1	27.1	44.5	51.6	54.4	58.8	68.3	75.2	81.2	91.1							
変更計画												74.4	83.3	92.3	100				

*事業着手年度又は評価年度

*R7年度の実績は見込み

3.添付資料シート（1）



3. 添付資料シート（2）

1 区画整理、鳥獣害防止施設の整備

整備前

写真撮影
方向

N

区画数
114区画 → 24区画

整備後

担い手（認定農業者）あけぼの大豆 作付箇所

不整形な農地を整形することで、営農条件の改善が図られ機械化が進み、生産性が向上した。

整備前

整備後

区画整理エリア
鳥獣害防止施設

- ・特産品の「あけぼの大豆」
- ・農業生産法人の設立で雇用も生まれ、また耕作放棄地も解消され地域の活性化が図られている。
- ・農地中間管理機構を通じて認定農業者へ転貸し農地の集積が図られた。

鳥獣害防止施設を整備することにより、野生鳥獣による被害を防止し、農作物の安定生産、維持管理の労力の軽減が図られ、営農意欲の低下を防ぎ、また耕作放棄地の拡大を防いでいる。



サルの食害により被害を受けたあけぼの大豆



3.添付資料シート（3）

2 農道の整備

整備前



・狭小な未舗装道路であり、輸送・通作等に苦慮している。
また、草刈り・路面補修等の維持管理も増大している。



整備後



・農道の整備により、車両の安全なすれ違いが可能となり、
農作物の輸送や通作環境が改善し、作業性が向上した。

3 用排水路の整備

整備前



・トンネル内部の崩落等により通水阻害が発生し、用水供給に支障が生じている。また、崩落等危険な状態であるため、トンネル内部の維持管理作業に危険が生じている。



整備後



・水路トンネルの整備により、崩落土による通水不良が改善されるとともに、安全性が向上し、維持管理労力が軽減された。

3.添付資料シート（4）

あけぼの大豆 収穫祭



- ・地域の特産物である「あけぼの大豆」収穫祭や収穫体験等のイベントの取り組みにより、県外から訪れた方や地域住民も気軽に農作業の体験を行い、特色ある農産物のPRに繋がっている。また農業法人の参入も見られる。

- ・地域の中央を中部横断自動車道が開通したことにより東京方面や長野・静岡から多くの観光客が訪れ、農産物・特産物の販売が増加している。

- ・令和4年3月、県内の農林水産物や食品で初めて国の地理的表示（GI）保護制度に登録された。

あけぼの大豆 収穫状況



- ・地域では特産のあけぼの大豆を活用した6次産業化を積極的に進めており、製品開発から製造、加工、販売までの体制を確立し、農業者の収益向上や地域振興、地域雇用の拡大が図られている。

あけぼの大豆 加工状況



加工品



JA販売所



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H27	22,000	設計業務 一式	0.9
H28	200,275	区画整備A=2.0ha、鳥獣害防止施設L=1,073m	9.1
H29	319,000	区画整備A=4.4ha、用排水路L=155m、 鳥獣害防止施設L=5,745m	22.1
H30	348,700	用排水路L=470m、農道L=189m、鳥獣害防止施設L=995m	36.3
R1	143,000	用排水路L=1,112m、農道L=93m 鳥獣害防止施設L=3,143m	42.1
R2	55,000	用排水路L=490m、農道L=86m、鳥獣害防止施設L=1,253m	44.4
R3	88,000	農道L=331m	48.0
R4	190,300	用排水路L=234m、鳥獣害防止施設L=2,633m	55.7
R5	137,049	用排水路L=185m、農道L=98m、鳥獣害防止施設L=188m	61.3
R6	121,000	区画整備A=0.9ha	66.3
R7	198,000	区画整備A=2.1ha、農道L=528m	74.4
R8	220,000	区画整備A=4.5ha	83.3
R9	220,000	農道L=160m、鳥獣害防止施設L=2,000m	92.3
R10	188,676	農道L=100m、鳥獣害防止施設L=3,510m	100.0
合計	2,451,000		